

教育施設情報

施設名：名古屋大学医学部附属病院

施設基本情報 ※施設情報について、各施設への直接のお問合せはお控えください。

〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

URL：<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>

診療科長/指導責任者

コース	診療科長	指導責任者
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	神田 光郎	神田 光郎
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	神田 光郎	神田 光郎
高難度脾・肝切除術コース	江畑 智希	江畑 智希
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	神田 光郎	神田 光郎

対応するプラン（コース/プログラム）

- 胸腔鏡下/ロボット支援食道切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援胃切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 高難度脾・肝切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型

各コースごとの年間手術件数

胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	70	件
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	50	件
高難度脾・肝切除術コース	250	件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	100	件

対応するプランごとの応募要件

コース	プログラム	応募要件
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	胸腔鏡/ロボット支援食道切除術の参加経験（助手、術者）がある。
	短期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医を取得済みである。
	中期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。
	長期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡/ロボット	超短期	腹腔鏡/ロボット胃切除術の参加経験（助手、術者）がある。

支援胃切除術コース	短期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医を取得済みである。
	中期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医を取得済みである。
	長期	消化器外科専門医を取得済みである。

コース	プログラム	応募要件
高難度膵・肝切除術コース	超短期	高難度膵・肝切除の参加経験(助手、術者)がある。
	短期	外科専門医取得済(将来肝胆膵高度技能専門医を目指している。)
	中期	外科専門医取得済(将来肝胆膵高度技能専門医を目指している。)
	長期	外科専門医取得済(将来肝胆膵高度技能専門医を目指している。)

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術の参加経験(助手、術者)がある。
	短期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医を取得済みである。
	中期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。
	長期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。

対応するプランごとの到達目標

コース	プログラム	到達目標
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	術野展開や鉗子操作を理解できる。(目標経験症例数：1例)
	短期	助手として手術に参加し、手術のコンセプトを理解できる。(目標経験症例数(助手)2～8件程度)
	中期	手術参加に加え、病棟管理に携わり周術期の理解を深める。(目標経験症例数(助手)：6件/月程度、半年間なら1例程度の術者経験を目標とする)
	長期	執刀医として手術を完遂できる。(目標経験症例数：助手50件以上、術者5件程度)

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	超短期	術野展開や鉗子操作を理解できる。(目標経験症例数：1例)
	短期	助手として手術に参加し、手術のコンセプトを理解できる。(目標経験症例数：3件)
	中期	手術参加に加え、病棟管理に携わり周術期の理解を深める。(目標経験症例数：20件)
	長期	執刀医として手術を完遂できる。(目標経験症例数(助手)：40件、執刀は数件程度)

コース	プログラム	到達目標
高難度膵・肝切除術コース	超短期	術野展開や鉗子操作を理解できる。(目標経験症例数：1 例)
	短期	助手として手術に参加し、手術のコンセプトを理解できる。(目標経験症例数(助手) 4～8 件程度)
	中期	手術参加に加え、週に 1 件程度、担当医を務め病棟管理に携わり周術期の理解を深める。(目標経験症例数(助手)：4～50 件)
	長期	執刀医として手術を完遂できる。(目標経験症例数(助手)：50 件以上、執刀は 5 件程度)

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	術野展開や鉗子操作を理解できる。(目標経験症例数：1 例)
	短期	助手として手術に参加し、手術のコンセプトを理解できる。(目標経験症例数：8 件)
	中期	手術参加に加え、病棟管理に携わり周術期の理解を深める。(目標経験症例数：30 件)
	長期	執刀医として手術を完遂できる。(目標経験症例数(助手)：50 件以上、執刀は 5 件程度)

給与（中間型プログラムおよび、長期間型プログラム）

- ・ 中間型プログラム、長期間型プログラムともに給与の支給：あり

福利厚生

- ・ 住宅手当/社宅：なし
- ・ 院内保育園/提携保育園：なし

施設の特徴：

- ✓ 手術に多く参加することができる。
- ✓ 幅広い症例を経験できる。
- ✓ ロボット支援手術を積極的に取り入れている。
- ✓ 力量や修練期間に合わせて修練目標・プランの考慮が可能。
- ✓ 研究・学術活動の機会がある。

施設からの一言：現在当科では、消化管外科部門と肝胆膵外科部門を構え、お互いに補い合い、協力し合いながら診療を行なっています。当院での手術・治療に興味をお持ちいただけましたら、ぜひ研修にご参加ください。豊富な症例と、分野横断で支え合うチーム体制の中で、実践的な技術と幅広い知識を身につけていただけるよう、全力でサポートいたします。